

高円寺図書館

2018年11月号



嗟峨浩見合い写真 [杉並区立郷土博物館蔵]

杉並区立高円寺図書館 電話 03-3316-2421

〒166-0003 東京都杉並区高円寺南2-36-25

《最近買った本等から》

書名	編著者等	出版者等
柔道のルール	鈴木桂治他監修	実業之日本社
誰にも聞けない短歌の技法Q&A	日本短歌総合研究	飯塚書店
基礎から始めるスポーツクライミング	東京都山岳連盟監修	日本文芸社
海民の移動誌	小野林太郎他編	昭和堂
被差別民の起源	菊池山哉	河出書房新社
海軍カレー伝説	高森直史	潮書房光人新社
祇園祭	アリカ他編	新潮社
これからの本屋読本	内沼晋太郎	NHK出版
フードバンク	佐藤順子編著	明石書店
卓球メンタル強化メソッド	平野早矢香	実業之日本社
郊外社会の分断と再編	石田光規編著	晃洋書房
新にっぽん奥地紀行	日本移民学会編	明石書店
ヨーロッパ経済とユーロ	芦原伸	天夢人
誘惑する文化人類学	田中雅一	世界思想社
はんこと日本人	門田誠一	吉川弘文館
岩石の科学	西川有司	日刊工業新聞社
バーベキューの歴史	J・ドイッチュ他	原書房
女子高生が憲法学者小林節に聞いてみた。「憲法ってナニ!？」	小林節	ベストブック
蟻たちの隠された生活	E・マカリスト	エクスナレッジ
辛基秀 朝鮮通信使に掛ける夢	上野敏彦	明石書店

幕末維新のリアル	上田純子他編	吉川弘文館
サピエンス物語	R・ハンフリー他	エクスナレッジ
剣道 質と実戦力を高める稽古法	香田郡秀	ベースボール・マガジン社

<11・12月の行事・展示> ※展示されている本は借りられます。

◎特別行事・展示

名称・テーマ等	場所・日程等	内 容
「杉並名誉区民・石井桃子没後 10年」	12月2日(日)まで 階段踊り場	郷土博物館他のご協力で写真パネルを中心に展示しています。
子どもの本のリサイクル	11月11日(日)まで。 2階児童コーナー入口	お一人5冊まで。 コーナーに設置された受領書にご記入ください。
文化寄席 「落語家・三遊亭歌太郎」(二ツ目) ※申込受付終了	11月3日(土・祝) 午前10時～11時30分 1階講座室 30名	図書館の講座室が高座に。話芸のすばらしさ・面白さをご堪能ください。
カール・マルクス生誕 200周年	6日(火)～12月26日(水) 3階コーナー	マルクス、及び資本主義経済等の関連資料を展示しています。 ※P10～11参照
茜舎人形劇 「こびとのくつや」・「さるかに」	11月10日(土) 午後2時～2時40分 1階講座室 対象:幼児～小学生とその保護者	アットホームな雰囲気舞台やお話、歌をお楽しみください。

ハンドベル コンサート	12月1日(土) 午後2時~3時 1階講座室 対象:幼児~小学生と その保護者	出演:ベルシスターズ 内容:ハンドベル演奏 人形たちのクリスマ スほか、すてきな音色 をきいて、クリスマス 気分をあげわってくだ さいね。
DVD上映会 「未来へ伝えるメ ッセージ」 ※当日、直接会場にお 越しください。	12月9日(日) 午後1時30分~3時 30分 1階講座室	杉並ゆかりの文化人 「染織家 佐々木苑 子」・「スペイン舞踏家 小松原庸子」を同日上 映します。



「染織家 佐々木苑子」



◎その他の行事・展示

「スペイン舞踏家 小松原庸子」

名称・テーマ等	場所・日程等	内 容
久世光彦の世 界	2階一般展示 コーナー	久世光彦の著作や関連する人の資 料を集めて展示。※P8~9参照
YAおすすめ の本	2階 YA コー ナー	高円寺図書館に来てくれた実習生 の手描きのポップとおすすめの本 が勢ぞろいします。
おいしいもの	2階 児童 絵 本・読物コー ナー	秋はおいしいものがいっぱい。本 の中にも、おいしいものがいっぱ い。おなかいっぱいめしあげれ。
育父部(いくぢ ぶ)おすすめの えほん	2階児童コー ナー入口	子どもに読み聞かせをしているグ ループのお父さんが、おすすめす る絵本を展示しています。

【表紙の写真から】

毎日新聞 8月16日朝刊に、「日中友好アサガオ鮮やか 愛新覚羅溥傑夫妻ゆかり」の記事があります。表紙の写真は、記事にもある清朝・ラストエンペラー溥儀の弟・溥傑に嫁いだ嵯峨侯爵家の長女・浩のものです。

1937年4月3日結婚式の当日、隠退した祖父・公勝の希望で杉並・大宮にあった祖父の邸宅から、沿道で日の丸を打ち振る多くの区民に見送られて、式場である軍人会館(後の九段会館)へ向かいました。

その後の時代の荒波に翻弄された生涯は、映画(京マチ子・船越英二主演)にもなった自伝『流転の王妃』等で窺い知ることができます。

旧嵯峨公勝邸宅跡に建つ郷土博物館では、今年が日中平和友好条約締結40周年ということもあり、12月2日(日)まで浩の書簡や婚礼衣装などを展示する「愛新覚羅浩展」を開催していますので、お立ち寄りください。

また、杉並区立図書館では下記の資料を所蔵しています。

関心のある方は、ぜひ手にとりてごらんください。



【愛新覚羅・満州関連】

- 『愛新覚羅浩展』
／ 杉並区立郷土博物館
- 『愛新覚羅浩の生涯』
／ 渡辺みどり／中央公論新社
- 『流転の子 最後の皇女・愛新覚羅嫺生』
／ 本岡典子／中央公論新社
- 『流転の王妃』
／ 愛新覚羅浩／文藝春秋

上・旧嵯峨侯爵邸庭石(於郷土博物館)

- 『流転の王妃 愛新覚羅溥傑・浩愛の書簡』／福永嫺生／文藝春秋
- 『流転の王妃の昭和史』／愛新覚羅浩／新潮社
- 『溥傑自伝』／愛新覚羅溥傑／河出書房新社
- 『わが半生』上・下／愛新覚羅溥儀／筑摩書房

- 『紫禁城の黄昏』上・下／R・F・ジョンストン／祥伝社
- 『溥儀』／入江曜子／岩波書店
- 『禁城の虜』／加藤康男／幻冬舎
- 『愛新覚羅溥儀 最後の人生』／賈英華／時事通信社
- 『最後の宦官秘聞』／賈英華／日本放送出版協会
- 『溥儀・戦犯から死まで』／王慶祥／学生社
- 『最後の皇妃』／王慶祥／学生社
- 『ドキュメント昭和7 皇帝の密約』／NHK取材班／角川書店
- 『満州国皇帝の秘録』／中田整一／文藝春秋
- 『愛新覚羅王女の悲劇 川島芳子の謎』／太田尚樹／講談社
- 『最後の公爵愛新覚羅恒煦』／愛新覚羅烏拉熙春／朝日新聞社
- 『清朝の王女に生まれて』／愛新覚羅顥琦／中央公論新社
- 『世紀風雪』上・下／愛新覚羅恒懿／日本放送出版協会
- 『昭和天皇とラストエンペラー』／波多野勝／草思社
- 『ラスト・エンペラー』／E・ベア／早川書房
- 『溥儀の忠臣・工藤忠』／山田勝芳／朝日新聞出版
- 『満州国』／秋永芳郎／光人社
- 『満州事変』／緒方貞子／岩波書店

下・浩ゆかりの白雲木(於郷土博物館)

- 『<満州>の歴史』
／ 小林英夫／講談社
- 『14歳<フォーティーン>満州
開拓村からの帰還』／澤地久枝／集英社
- 『満蒙開拓団の真実』
／ 小林弘忠／七つ森書館
- 『井上ひさしの大連』
／ 井上ひさし編／小学館



くぜてるひこ 〈特集 久世光彦〉

5月16日に歌手・西城秀樹、9月15日に女優・樹木希林が逝去されましたが、二人が共演したドラマにTBS「寺内貫太郎一家」があります。

この作品の脚本・向田邦子、主演・小林亜星は杉並ゆかりの人ですが、PD・久世光彦も杉並と縁の深い人物です。

久世は1935年4月19日阿佐谷に生まれ、戦争で疎開するまで世尊院近くの国民学校に通っていました。

受験浪人生活を送っていた時期は天沼に住み、東大生の従兄とその同級生(後のノーベル文学賞作家・大江健三郎)の三人で、高円寺駅前にある「赤ちゃん」という酒場によく行っていました。

東大卒業後、ラジオ東京(現TBS)に入社。ドラマ「時間ですよ」・「ムーン一族」などを手掛け、退社後は正月ドラマ「向田邦子新春スペシャル」等を演出。映画や舞台でもマルチな才能を発揮し、1992年「女正月」他で芸術選奨文部大臣賞、2003年「センセイの靴」で文化庁芸術祭優秀賞受賞。

作家としては、1987年『昭和幻燈館』でデビュー。

1993年『蝶とヒットラー』でドゥマゴ文学賞、1994年『一九三四年冬一乱歩』で山本周五郎賞、1997年『聖なる春』で芸術選奨文部大臣賞、2001年『蕭々館日録』で泉鏡花賞を受賞。

50歳過ぎてからの作家活動でしたが、多くの作品を執筆しています。

脚本や作詞も行い、「桃と林檎の物語」で日本作詩大賞、香西かおり「無言坂」で日本レコード大賞受賞。1998年、紫綬褒章受章。

2006年3月2日に逝去しますが、その後も『遊びをせんとや生れけむ』・『歳月なんてものは』等が刊行され、その作品は愛され続けています。

今年は十三回忌にあたり、雑誌『オール讀物』(文藝春秋)の4月号「追慕 久世光彦」には歌手・小泉今日子が寄稿しています。

小泉が催している音楽舞台「マイラストソング」は、久世のエッセイをもとに構成されています。

【久世光彦著作、及び関連資料】

- ◎『マイ・ラスト・ソング あなたは最後に何を聴きたいのか』
- ◎『みんな夢の中 マイ・ラスト・ソング2』
- ◎『月がとっても青いから マイ・ラスト・ソング3』
- ◎『ダニー・ボーイ マイ・ラスト・ソング4』
- ◎『マイ・ラスト・ソング最終章』
- ◎『あべこべ』 / ◎『有栖川の朝』 / ◎『怖い絵』
- ◎『飲食男女 おいしい女たち』 / ◎『泰西からの手紙』
- ◎『逃げ水半次無用帖』 / ◎『燃える頬』 以上、文藝春秋
- ◎『女神』 / ◎『謎の母』 / ◎『花迷宮』 / ◎『卑弥呼』 ◎
- 『早く昔になればいい』 / ◎『薔薇に溺れて』 / ◎『桃』
- ◎『冬の女たち 死のある風景』
- ◎『大遺言書』・『今さらながら一大遺言書』・『さらば大遺言書』・ /
森繁久彌・語り、久世光彦・文 以上、新潮社
- ◎『嘘つき鳥』/幻戯書房 ◎『百間先生 月を踏む』/朝日新聞社
- ◎『触れもせで 向田邦子との二十年』 / 講談社
- ◎『書林逍遥』 / 講談社 ◎『渚にて』 / 集英社
- ◎『ひと恋しくて 余白の多い住所録』 / 中央公論社
- ◎『雛の家』 / 中央公論新社 ◎『陛下』 / 中央公論新社
- ◎『美の死 ぼくの感傷的読書』/筑摩書房 ◎『久世塾』/平凡社
- ◎『ニホンゴキトク』/講談社 ◎『死のある風景』/新人物往来社
- ◎『へのへの夢二』 / 筑摩書房 ◎『時を呼ぶ声』 / 立風書房
- ◎『花筐 帝都の詩人たち』/都市出版
- ◎『むかし卓袱台があったころ』 / 筑摩書房
- ◎『悪い夢 私の好きな作家たち』 / 角川春樹事務所
- ◎『久世光彦の世界』 / 川本三郎責任編集 / 柏書房
- ◎『久世光彦 v s . 向田邦子』 / 小林竜雄 / 朝日新聞出版
- ◎『「時間ですよ」を作った男』 / 加藤義彦 / 双葉社
- ◎『テコちゃんとの時間 久世光彦との日々』 / 久世朋子 / 平凡社

カール・マルクス生誕200周年

今年は『資本論』で著名なカール・マルクス生誕 200 周年であり、「一匹の妖怪がヨーロッパを徘徊している。共産主義という名の妖怪が」の一文で有名な「共産主義宣言(共産党宣言)」が著されて 170 年にあたります。

マルクスの考えは、20 世紀の政治や社会思想に多大な影響を与えましたが、現在でも特に注目されるのは経済においてと言ってよいでしょう。

今月 6 日(火)~12 月 26 日(水)の間、3 階のブックトラックに、①マルクスの著作や関連資料、②資本主義、社会主義、新自由主義、グローバル資本主義をキーワードに選択した本を集めて展示します。

興味・関心のある方は、ぜひご一読ください。

【マルクス著作、及び関連資料】

- ◎『共産主義者宣言』 / 平凡社
- ◎『ユダヤ人問題に寄せて/ヘーゲル法哲学批判序説』 / 光文社
- ◎『賃労働と資本/賃金・価格・利潤』 / 光文社
- ◎『マルクス 資本論の哲学』 / 熊野純彦 / 岩波書店
- ◎『アーレントのマルクス 労働と全体主義』 / 百木渚 / 人文書院
- ◎『これからのマルクス経済学入門』 / 松尾匡他 / 筑摩書房
- ◎『カール・マルクス 「資本主義」と闘った社会思想家』 / 佐々木隆治 / 筑摩書房
- ◎『100 語でわかるマルクス主義』 / G・チュメニル他 / 白水社
- ◎『21 世紀に、資本論をいかによむべきか?』 / F・ジェイムソン / 作品社
- ◎『希望の資本論』 / 池上彰・佐藤優 / 朝日新聞出版
- ◎『マルクスを読みなおす』 / 徳川家広 / 筑摩書房
- ◎『今こそ『資本論』』 / 嶋崇 / 朝日新聞出版
- ◎『マルクス経済学』 / 松尾匡 / ナツメ社

- ◎『高校生からわかる「資本論」』 / 池上彰 / ホーム社
- ◎『青年マルクス論』 / 廣松渉 / 平凡社
- ◎『『資本論』を読む』 / 伊藤誠 / 講談社
- ◎『マルクス入門』 / 今村仁司 / 筑摩書房
- ◎『マルクスだったらこう考える』 / 的場昭弘 / 光文社
- ◎『社会思想上のマルクス』 / 城塚登他 / 情況出版
- ◎『資本論の基本性格』 / 松石勝彦 / 大月書店
- ◎『マルクス 思想読本 2』 / 今村仁司編 / 作品社

【資本主義、共産主義、社会主義、新自由主義等をキーワードにした本】

- ◎『グローバル資本主義の形成と現在』 / L・パニッチ他 / 作品社
- ◎『オフショア化する世界』 / J・アーリ / 明石書店
- ◎『「公益」資本主義 英米型資本主義の終焉』 / 原丈人 / 文藝春秋
- ◎『日本型資本主義 その精神の源』 / 寺西重郎 / 中央公論新社
- ◎『人工知能と 21 世紀の資本主義』 / 本山美彦 / 明石書店
- ◎『資本主義に希望はある』 / P・コトラ / ダイヤモンド社
- ◎『新自由主義の帰結』 / 服部茂幸 / 岩波書店
- ◎『マルクス主義と福祉国家』 / 聴濤弘 / 大月書店
- ◎『資本の<謎>』 / D・ハーヴェイ / 作品社
- ◎『自由市場の終焉』 / I・ブレマー / 日本経済新聞出版社
- ◎『資本主義経済はどこへ向かうのか』 / 西部忠 / NHK出版
- ◎『グローバル資本主義と日本の選択』 / 金子勝他 / 岩波書店
- ◎『新しい資本主義』 / 原丈人 / PHP研究所
- ◎『自由だけではなぜいけないのか』 / 荒井一博 / 講談社
- ◎『グローバル資本主義の未来』 / 藤原帰一編著 / 日本放送出版協会
- ◎『テロリズムの罫左巻 新自由主義の行方』 / 佐藤優 / 角川学芸出版
- ◎『閉塞経済 金融資本主義のゆくえ』 / 金子勝 / 筑摩書房
- ◎『貧困のない世界を創る』 / M・ユヌス / 早川書房
- ◎『暴走する資本主義』 / R・B・ライシュ / 東洋経済新報社

11 月

<高円寺図書館カレンダー>

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3 文化寄席
4	⑤ 休館日	6	7 お話会	8	9	10 人形劇
11	12	13	14 あかちゃんタイム お話会	⑮ 休館日	16	17
18	19	20	21 お話会	22	23	24
25	26	27	28 お話会	29	30	

○…休館日 下線…午後5時閉館

【開館・貸出時間】 月曜～土曜…午前9時～午後8時

日曜・祝日…午前9時～午後5時

【休館日】 (祝日と重なったときは直後の平日が休館日となります。)

第1月曜日…高円寺は休館ですが、中央外区内6館は開館してます。

第3木曜日…全館休館日です。

12 月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	③	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	⑳	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	㉑					